

「かすかな気づき」

あの子の居場所はきっとある!

—ひらがなの羅列にすぎなかった長い、わかりにくい文章。
それが、ある日から句読点が付き、漢字に変換され、読める文章となった。
きっかけは支援者との出会い。それは、復活の呪文。
ひきこもりきった私は、こうして外(社会)につながる事ができた。(講師談) —

講師 しら いし 白石 ゆう いち 裕一さん (くらしサポートセンター守口)

中学時代から長くひきこもった影響で精神障がいを持った白石裕一さん。
今ではほぼ回復、「ひきこもり支援アドバイザー」として日々ご活躍です。
今回は、ご自身の「ひきこもり」卒業のお話に加えて、「ひきこもり」
に悩む方やその家族が、どうすれば社会と関わるきっかけを見つけら
れるのか、また、地域(周り)はその方々とどう関わっていけばいいか、
などをお話しいただく講演会です。

日時 令和6年2月16日(金) 午前10時~12時

場所 守口市役所1階 会議室103・104

定員 50名(定員に達し次第締め切ります) 〆切 2月2日(金)

対象 市民の皆さま **参加費** 無料

※当日、手話通訳・要約筆記を配置します。

★2月29日(木)午後1時半から【家族のためのメンタルヘルスマニ講座】を開催します。こころの困りごとや生きづらさを抱える方のご家族は、ぜひこちらにご参加ください。詳細はチラシまたは「広報もりぐち1月号」をご覧ください。か、守口市障がい福祉課(06-6992-1221(代表))までお問合せください。

当日午前7時の時点で、大阪府内に暴風警報が発令されている場合には、講演会を中止します。

申し込み・問い合わせ：守口障害者生活支援事業所みみ(担当：細越・下鶴)

TEL：06-6993-9640

FAX：06-6993-9647

E-mail：mimimori@gaea.ocn.ne.jp

